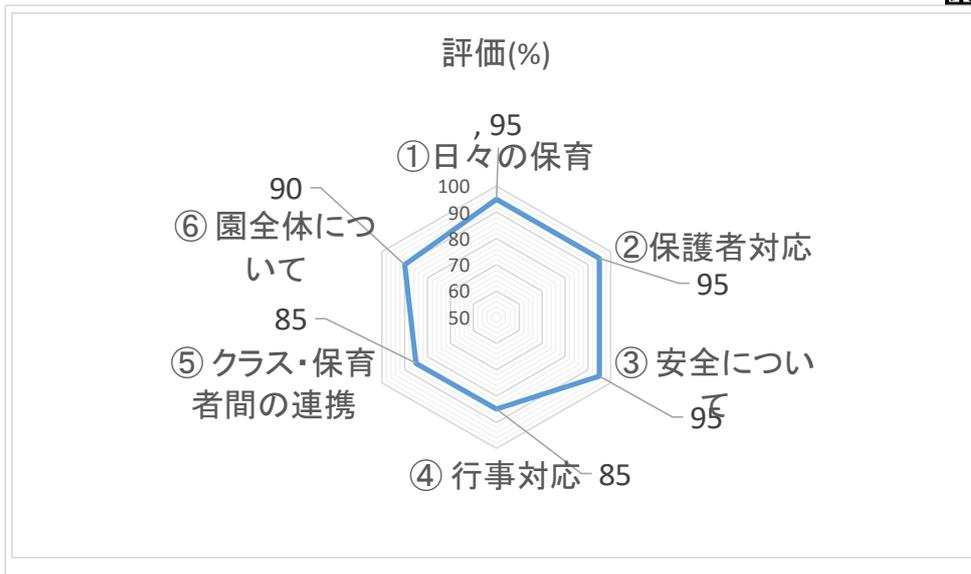


令和3年度愛和保育園運営自己評価

園長氏名: 上間 浩也



項目	自己評価内容
① 日々の保育	<p>新園舎でスタートした5年目に入り定員の150名+5の園児を通年して保育することができました。その間大きな事故もなく新しく広くなった保育環境を昨年度に増して有効に活用した保育を心がけ・実践できたと思います。</p> <p>特に保育指針改定を意識し、「待つ保育」の実践・実現のため、一日の保育の流れかの見直し、保育の環境構成の見直し等がより良い保育に繋がることを意識して各種取り組みをしてきました。</p>
② 保護者対応	<p>昨年度に引き続き登園及び降園時の門での交通安全を兼ねた立ち番をほぼ毎日約2時間実践をしました。その際、ほぼ全員の園児および保護者等への声掛けを通じて、情報共有・信頼関係の構築できるよう心掛けました。また、登降園システム(コドモン)活用し双方向での情報交流ができるようにした。コドモンの動画配信も加え、保育園における園児の様子を保護者に提供する取り組みもした。保護者・園児・保育士等との会話が弾むよう工夫しました。</p>
③ 安全について	<p>安全委員会を中心に全職員で、危険箇所をあげ、一ヶ所づつ改善していきました。1年間大きな事故もなく過ごすことができた。</p> <p>送迎時の交通安全指導も、毎日行い安全に過ごすことができた。</p> <p>また月初めに園舎全体の安全確保を目的に「災害対策自主点検」を実施し、安全確保につとめました。</p>
④ 行事対応	<p>コロナ感染拡大により、が継続している中でも保育士を中心に記録動画等を活用し各種行事の開催方法を工夫して1年でした。そのコロナ渦の中でも工夫して各保育士が疑問点・問題点をあげながら一つひとつ全体で話し合い解決していった。声を掛け合いながら連携を取って取り組み、子供たちの元気な声がかえました1年でもありました。</p>
⑤ クラス・保育者間の連携	<p>職員間の円滑なコミュニケーション実現に向け、部外講師等の支援もいただきながら、風邪通しの良い職場環境の実現に向け取り組んだ。職員各クラスのクラスリーダーを中心に各保育士が、クラス保護者からの疑問点・問題点をあげながら一つひとつ全体で話し合い解決していった。また園全体にかかわるテーマは「専門リーダー・主任・副主任・園長にて検討案を策定し、全体の保育士会議等で論議、意識統一を図り、具体的な取り組みを行った。</p>
⑥ 園全体について	<p>新園舎での保育が54年目に入ったという事で、さらに職員全体会議等での今年度の総括及び次年度の主たる取り組み全体で確認に仕合いました。また、保護者ともほぼ全員と園の取り組み等について各クラス担任を中心に、園としての保育に関わるスタンスを共有でき、良好な保護者及び園児との関わりが実現できたと思います。今後は地域住民と交流等地域貢献を意識した取り組みの検討・実践が求められると意識している。</p>